

第 1 0 回

大井川「白羽山はばたきの森」に集う会

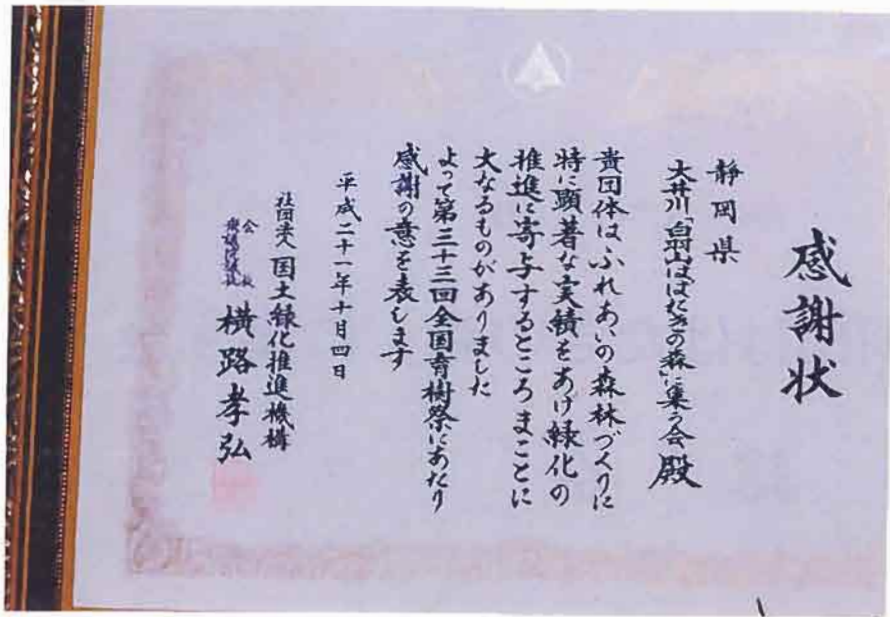
総 会



写 真 平成21年11月15日（森の感謝祭にて四阿づくりの様子）

開催日 平成22年4月11日（日）

場 所 川根本町 はばたきの家にて



総 会 次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

- * 第1号議案 平成21年度事業報告承認の件
- * 第2号議案 平成21年度収支決算承認の件
- * 第3号議案 平成22年度事業計画（案）承認の件
- * 第4号議案 平成22年度収支予算（案）承認の件
- * そ の 他 平成22年度実行委員選出

4. 閉 会



〔第1号議案〕

平成21年度事業報告について

1. 平成21年度の会の活動

- (1) 会員の募集 4月～3月
 (2) 「白羽山はばたきの森」育林作業 4月～3月
 (3) 「白羽山はばたきの森体験会」 企画、運営 8月～9月、11月
 (4) 拠点づくり、「はばたきの森」「彩の森」「大井川を育む森」 4月～3月
 「山小屋」第1期工事（四阿）8月～11月、第2期工事（外壁）3月～
 (5) 会報の発行 はばたきの森 ニュース、 8回発行
 (6) 平成21年度活動記録

開催日	項 目	摘 要	参加人数
4月12日(日)	総会。第1回育林作業。植林80本、生長記録調査、		30名
5月24日(日)	第2回育林作業。自然の森観察会(寸又川上流部) 悪天候のため中止		
6月7日(日)	第2回育林作業。下草刈り作業実施。コナラ林の虫害対策の検討。20名 蜂捕獲機取り付け、取り外し、防護策点検、草刈りは彩の森が主、		
6月に、志太榛原農林事務所が当会の活動を県代表としてふれあいの森林づくりに応募			
8月30日(日)	森づくり体験会準備会。フィールド点検、蜂捕獲機、森の集い練習。16名 山小屋づくり第1期工事（四阿）の説明を受ける。		
9月13日(日)	森づくり体験会実施。第3回育林作業。地元小中学生参加0も一般5人 も加わり下草刈りは大きな成果となる。建設地地鎮祭。		33名
10月3～4日、	全国育樹祭参加、国土緑化推進機構会長賞授賞、		3名
10月11～12日	研修会－富士山周辺の森を訪ねて、2年の取り組みが実る。		12名
11月1日(日)	第4回育林作業。フィールド整備、四阿建舞参加、森の感謝祭準備会		21名
11月15日(日)	森の感謝祭。第5回育林作業。秋の森づくり県民大作戦参加。 枝払い、ささゆり植えつけ、循環型林業の話、四阿床張り、きのこ汁		63名
1月17日(日)	新年会。全国育樹祭報告会。終了後懇親会。島田市三布袋にて		20名
3月7日(日)	山小屋外壁、雨戸作り始まる。		19名
14日(日)	第5回育林作業、整地地ごしらえ、山を守る活動事業準備会 山小屋板張り、雨戸作り、21日植林場所確認（大井川を育む森）		25名
15日(月)	山小屋板張り、雨戸作り、浜北西部育種場へ苗木170本取りに行く		10名
18日(木)	山小屋板張り作業。小柳会員よりコナラ苗木50本が届く。		5名
20日(土)	第6回育林作業、植林100本、山小屋板張り、雨戸作りは次年度繰越。		11名
21日(日)	大井川を育む森植林大会。第7回育林作業、彩の森、大井川を育む森に 120本の植林、野生動物防護柵作り、はばたきの森、間伐見学、 森林、川、海の話、豚汁提供。 今年度総参加人数 339名		51名

[第 2 号 議 案]

平成 21 年 度 収 支 決 算 に つ い て

1 収 入 の 部

単 位 円

科 目	決 算 額	備 考
会 費	92,000	2,000×46名
助 成 金	784,000	活木活木森ネットワーク 593,000 県緑化推進協会 16,000 " 175,000
建 設 協 力 金	120,000	3,000×40名
雑 収 入	73,225	お礼(清流を守研究競技会) 50,000 感謝祭参加費 500×26名 13,000 預金利息 60 研修会残寄付 2,670 新年会残 7,495
前 期 繰 越 金	253,050	
計	1,322,275	

2 支 出 の 部

科 目	決 算 額	備 考
通 信 費	31,180	郵 送 料、他
事 業 費	216,749	保険料 32,155 会報代金 3回 9,000 資材費 50,164 イベント費 3回 29,880 指導員謝礼 29,000 全国育樹祭参加費 66,550
山小屋 建設費	863,000	第1期工事 四阿形式
雑 費	720	送金手数料
計	1,111,649	

差 し 引 き 210,626 円 次 年 度 繰 越 金

〔第3号議案〕

平成22年度事業計画(案)について

1. 平成22年度の会の活動予定

- (1) 会員の募集 4月～3月
- (2) 「白羽山はばたきの森体験会」 企画、運営 8月～11月
- (3) 「白羽山はばたきの森」の拠点づくり 4月～3月
- (4) 椎茸栽培への学習実践 4月～3月
- (5) 賛助会員の募集と勉強会、環境学習への取り組み 4月～3月
- (6) 会報の発行 年8回 A4版
- (7) 平成22年度活動予定 *印は森づくり県民大作戦として実行予定

4月11日 総会。午前中に会計監査他。標準木生育調査。植林。山小屋落成式。

以下大まかな計画です。

- * 5月16日(日) 大井川の森の防護柵設置。源流部自然の森観察会(国有林)
実行委員(杉山千之、原敏明、鈴木伸郎)
- 6月~~6日~~^{13日}(日) 第1回 下草刈り、 予備日 6月~~13日~~^{20日}
実行委員(諸田譲治、山田栄一、榎田川徳次)
- ~~8月～ソバ作り~~ 小屋外壁塗装、フィールドチェック
7月18日(日) 実行委員(小柳徳二、澤本廣、吉屋尊一)
- 8月21～22日 研修会 南アルプス千枚岳。雨天決行。~~9月4～5日子備日~~
(エ、日) ^{参加} 実行委員(内海登、加藤篤子、山内誠)
^{約20名}
- 8月29日(日) 森づくり体験会打合せ フィールドチェックと準備
- 9月12日(日) 森づくり体験会 メーン下草刈り。
実行委員(清水克郎、杉山厚吉、河村喜弘)
- * 11月14日(日) 森の感謝祭。フィールド整備 木工教室(木の名前を吊す)。
^{キノコ収穫} 実行委員(塩沢邦夫、高橋徹生、大石手雄)
- 12月12日(日) 正月飾り、クリスマス飾り作り、 予備日 12月19日
実行委員(加藤千晶、鈴木みづ子、山内まゆみ、河村はま)

平成23年

- 1月16日(日) 新年会及び学習会
実行委員(北島亨、福井道雄、志村弘一)
- 3月13日(日) 植林、フィールド整備。大井川を育む森。
実行委員(大村明孝、加藤千晶、松原富雄)

~~*ソバ作りが実現すれば仕事量が増え、収穫や試食も楽しみです。~~

*山小屋を活用したプログラムも考えたいです。

(役員会)年数回

[第 4 号 議 案]

平成22年度収支予算(案)について

1 収入の部

科 目	予 算 額	備 考
会 費	90,000	2,000円×45名
助 成 金	300,000	しずぎんふるさと環境保全基金 県緑化推進協会
雑 収 入	29,374	雑収入
繰 越 金	210,626	
計	630,000	

2 支出の部

科 目	予 算 額	備 考
会 議 費	5,000	
事 務 費	10,000	
通 信 費	30,000	
事 業 費	270,000	会報, 森づくり体験会, 資材代金, 他
山小屋 建設費	300,000	第2期工事 外壁工事
雑 費	15,000	
計	630,000	

* 各科目間の流用はできるものとする。

(付帯決議)

本日の決議事項中の権利義務に関しない、軽微な事項の修正及び速算誤字の訂正は会長に一任するものとする。

役員名簿

役職	氏名	担当	実行委員	月日
会長	小沢 節子			
副会長	加藤 千尋			
	澤本 廣			
	諸田 讓治			
監事	小柳 徳二			
	杉山 千之			
会計	諸田 史恵子			
事務局	北島 享			
実行委員				

協働行政機関

県(志太榛原農林)	松村史基係長	森林整備課担当
町(川根本町)	鈴木浩之、横畑和哉	産業課林政担当

地主	鈴木みつ子	12/12	森林所有者
----	-------	-------	-------

*備品一覧表（平成22年3月31日現在）

備品名	前年残数	本年増減	所有数	備考
下刈り鎌 (大)	14	0	14	
(中)	10	0	10	
草刈り鎌	20	0	20	
十字鋏	20	0	20	
刈払機	4	0	4	F.S.Cより
チェーンソー	1	0	1	"
兼帯	4	0	4	
カケヤ	3	0	3	
救急箱	1	0	1	
ヘルメット	60	0	60	F.S.Cより
(帽子)	(60)	(50)	(110)	会員所持 " 会員他分配

平成21年度 活動 記録

4月12日(日) 総 会 13:00~14:30 緑の伝習館にて

総会次第 司会 監事 小柳

出席者27名

1. 開 会 加藤副会長
2. 挨拶 会長 小沢
3. 議 事 第1号議案~第2号議案まで承認される。

*. 監査報告は杉山監事

第3号議案、役員改選について、役員会案承認される。

*. 新副会長、諸田譲治さん挨拶

第4号議案~5号議案まで新役員にて進行、承認される。

*. 実行委員の人選役割もスムーズに決定。

*. 会員同士の意見交換

4. 閉 会 諸田副会長

4月12日(日) 第1回育林作業 補植 80本(彩の森-70本、はばたきの森10本)

第10回生育調査実施。

出席者30名

* 9:30~彩の森にてコナラ50本、ケヤキ12本、キハダ8本を植栽、支柱70本。

* 10:40~はばたきの森に移動して景観ゾーンを中心に、空き地にケヤキ8本、キハダ2本を植栽、支柱1本囲み柱4本ネット張り施行(鹿除け)

* 6人が2班に分かれて生育調査実施、標準木50本確認、計測、記入。

* 12:00~ウッドハウスおろくぼにて昼食会。ハンバーグランチがおいしかった。

* 12:40~椎茸畑にて椎茸を採る。沢山とれて参加者で分けた。

4月13日 国土緑化推進機構の平成21年度「先駆的先導的森づくりボランティア活動支援事業」助成金に応募してみる。 6月26日不採用決定

4月21日 5月24日予定、寸又峽の森の防護柵点検と自然の森観察会の案内状送付
実行委員、沢本広、福井、山内誠、栗田、有賀
国有林内入林許可を沢本副会長が申請、森林管理署より許可される。

5月15日 森づくり体験会等、会員が参加者向け環境教育を実施出来るよう、県の環境学習リーダー派遣事業に派遣を申し込む。 後日派遣決定、期日8月30日

5月16日 6月7日予定、第2回育林作業、下草刈り実施についての案内状送付

5月24日 天候が悪いので、中止の連絡をする。40名の参加者があったのに残念。

6月 2日 NPO法人等地域材利用推進及活動助成事業の公募（活木活木森ネットワーク）に
地域木材を使ったあづまや作りを応募（清水会員作成）
7月28日採択決定、593,000円

6月 7日（日） 第2回育林作業、下草刈り
刈り払い機4台、山百合添え木10本、下刈り鎌17本、兼帯4本、ハンマーなど使用。
出席者20名 実行委員、河村喜弘、諸田譲治、杉浦。 2班に分かれる。
*はばたきの森班、班長河村。
樹木の回りの坪刈り、コナラの消毒、蜂捕獲器の取り付け取り取り外し、防護柵点検な
*彩の森班、班長杉浦。 だ。
全体の下草刈り、山百合を支柱をたて束ねて、回りをきれいにする、蜂の捕獲器の取り
付け取り外し、防護柵の点検など。
*参加者が少なかったが、班長さんの指揮のもと、皆精力的に活動して、1日で作業を終
了させてくれた。はばたきの森はそろそろ下草刈りも卒業しそうでうれしい。彩の森は
左下は草の勢いが凄く大変だった。彩の森の防護柵が初めて破られたので修理。

6月12日 『ふれあいの森林づくり』コンクール（国土緑化推進機構）に、はばたきの森の育林活動を、県
からの勧めもあり、志太榛原農林事務所が作成し（10年間の資料提供）県に提出。県代表と
なり国に提出する。

7月 3日 諸田副会長が、「はばたきの森」のホームページを作成、広く発進される。

8月 7日 第3回育林作業、森づくり体験会及び準備会の案内を発送。

8月18日 『ふれあいの森林づくり』が 『国土緑化推進機構会長賞』に決定の連絡あり。

8月20日付けで、第33回全国育樹祭参加の案内状が届く。8月25日配達される。

8月30日（日） 森づくり体験会準備会
1. フィールド点検
出席者16名 2. 蜂捕獲器設置地点に、混合液体を注入。
3. 体験会がスムーズに行くための研修会－講師県環学指導員辻さん講師
4. 日程表づくり
5. 小屋作りの説明 = 松本修氏 予定 8/30 事始め 9/13 地均し
11/1 建前 11/15 完成式。建設工事費の約70%の助成を受けるので、会負担
分の一部を会員が受け持つ事。 一人3,000円 9月より集金 など

9月 1日 第33回全国育樹祭参加の葉書提出。会員向け森づくり体験会日程表と連絡事項発送。
中中、中央小、第一小、南部小に森づくり体験会の案内状送付。

9月13日(日) 第3回育林作業、森づくり体験会

出席者33名 *午前中下草刈り、2班に別れ、1班(清水、杉山厚)はばたきの森12人刈り払い機2台
コナラの消毒。2班(塩沢、加藤勝)彩の森16人刈り払い機3台。いずれの森も下草が
繁茂して重労働となったが、全員の協力により全て終了した。

実行委員

加藤勝成

清水克郎

塩沢邦夫

*食事の後、ウッドハウスおろくぼで特製デザートをいただく。

*午後は、四阿建設予定地にて、作業などの安全を祈願して地鎮祭をとりおこなう。後に
椎茸畑にて、ほだ木の組直しと今春菌打ちしたほだ木を組み込んだ。こちらも大変な作業
だったが、皆一生懸命力を合わせ、新たなほだ場が出来上がった。

*反省会では、参加者全員が今日の作業の成果を喜んだ。地元の小中学校の参加がなくて残
念でしたが、感謝祭には是非来てもらいましょう。

9月16日 平成21年度 森づくりグループ活動支援推進事業(県緑化推進協会)助成金決定

175,000円 9月24日申込、10月5日手続き、10月26日入金、12月2日終了
12月7日報告書送付、12月9日確定、完了。大助かりでした。

10月3~4日 第33回全国育樹祭(長崎県雲仙市)出席。2日~4日間、静岡空港利用。

出席者 3名 目的は式典にての表彰参加のため。国土緑化推進機構会長賞授賞(ふれあいの森林づくり優良
市町村等)。3日長崎県入り、夜、大会会長主催(参議院議長)懇談会に会長出席。4日早朝
出発、雲仙普賢岳肩の垂木台にて植樹、育林をしてから、式典会場の百花台公園に到着。

会 長

加藤副会長

加藤篤子

皇室(皇太子殿下)参加にて会場は厳重警戒、炎天下、7,500名参加の催しが始まった。

皇太子殿下が、約20年前天皇陛下が植樹された桧に御手入れをされて会場到着。式典開始。

表彰は*全国緑の少年団*全国育樹活動コンクール*ふれあいの森林づくり*長崎県緑化功労
者の各団体の代表4名が壇上の御席まえにて授受、当会の会長は、ふれあいの森林づくりの全
国代表として、理事長より感謝状を受け取った。育林活動最高賞授賞は会員全ての努力の賜物

10月11日~12日 富士山研修会、2年越しの計画実る。好天に恵まれ、車3台に分乗して藤枝総合庁舎を

出席者12名 出発、富士浅間大社無事祈願-富士山5合目(宝永火口付近)-山中湖-忍野八海-鳴沢村(

実行委員

木村 哲

木村睦子

加藤篤子

小柳徳二

富士緑の休暇村) = 泊 = 2日目 = 緑の休暇村出発 - 吉田富士山5合目 - 御中道 ~ 御庭 - (ガ
イド付き) - 鳴沢氷穴 ~ 樹海(ガイド付き) - 富士ミルクランドにて解散、各車藤枝総合庁舎
に無事帰還。実行委員の皆さんの計画、実行、に感謝します。沢山の勉強が出来ました。

*富士山静岡県側から伊豆半島、御前岬、駿河湾、裾野の市町の展望、山頂まで真近、紅葉も最高。

*富士山山梨県側から南アルプス、富士5湖、樹海の展望、雪代、山頂以下積雪、未開発大森林。

*鳴沢氷穴 ~ 樹海歩き、長尾山、大室山の噴火、溶岩地と火山灰地の森林の違い他。

- 10月15日 11月第4回育林活動、11/15森の感謝祭の連絡発送、2日間共四阿建舞、完成予定。
- 10月19日 平成21年度志太榛原地域森づくり連絡会（藤枝総合庁舎）出席、会長。
- 10月24日 森の感謝祭の招待状を県知事、町長ほか会がお世話になった関係者、中川根中学校、中央小学校他町内学校に送る。
- 11月 1日（日） 第4回育林作業、フィールド整備、樹木の点検、添え木、防護柵の点検補修、森の感謝祭準備
四阿建舞手伝う。約15日間で完了するよう大工さんを激励。総檜製にていい香りが漂う。
出席者21名 建て坪6坪の四阿だが、屋根を大きくし、雨が吹き込まないように設計依頼。
- 11月15日（日） 第5回育林作業、森の感謝祭と四阿完成式。出席招待者5名（県知事名代、多田さん他）
一般30名（チャッキリ娘参加）を迎え賑やかな感謝祭となった。
出席者63名 午前中、育林作業、さきゆり、イカリ草（西村仁一さん寄贈）の植えつけ作業をし、昼食には、にぎり飯、きのこ汁（豚汁、かぼちゃ粥を参加者に振舞う。（会員500円集金）
実行委員 午後は森のつどい（木のはじめから終わりまで）で木片や葉を使ったゲームや、四阿づくりに参加してもらうことで、循環型林業、特に木材から製品材（木づかい）が理解された
河村はま のではないかと思われました。活木活木森ネットワークの多田さんも遠くから参加して下
鈴木伸朗 さって助成金の活用された姿を見て行かれたことも、意義あることでした。今回にて四阿
加藤千渥 は完成されましたが、今後は全面に板を張って山小屋に仕上げたいとの希望が多かったため、四阿づくりを変更して、山小屋第1期工事と致しました。
- 12月 8日 しずぎんふるさと環境保全基金に、山小屋第2期工事の資金として、20万円応募しました。過去当資金は2回で20万円の助成をいただいておりますので、無理かともおもいますが。
- 12月12日（土） クリスマス会は、日程がつかず中止と致しました。
- 1月17日（日） 新年会、全国育樹祭報告会開催。 島田市 三布袋にて
出席者20名 *全国育樹祭と当会が、ふれあいの森林づくり優良市町村等の部で全国一になったことの
実行委員 喜びを会員一同分かち合いたいと、報告会を開きました。その時遭遇した様々な出来事を
志村弘一 をまじえ、会場が遙か西の外れの長崎県であったことの不運さ、大勢の会員を連れて
高橋徹生 行かれなかったことも、理解してもらいました。このような栄誉は2度と巡ってこない
北島 享 ことも理解してもらいました。
新年会は和気あいあいと楽しく行われました。
- 2月12日 山小屋づくり第2期工事他実施計画参加の文書発送。（作業日6～7日出役希望）

3月 1日 しずぎんふるさと環境保全基金交付決定連絡 金額10万円 3月末振込み予定。

3月 7日(日) 山小屋外壁工事を開始。3仕事 役割分担 *板張り(班長沢本)*雨戸作り(塩沢)
*菅繕(小沢)、雨戸作りは長尾川製材で作成。板張りは松本修さん指導にて行う。

出席者19名 菅繕は小屋周辺の朽ちた丸太や木屑ごみを収集して植林が出来るようにすること。
各々の班にて精力的に頑張るが、各班ともに大仕事を予感。

3月14日(日) 7日の続きを各々の班で頑張る。*朽ちた丸太や木屑は膨大な量になった為、地主さんの
山に投げ捨てる。(軽トラック10台位)小屋周辺がきれいにかたづいた。

出席者25名 *板張り作業は順調に進み、山小屋らしくなってきた。
*雨戸作りは枠作り完了するも難しい仕事となった。

3月15日(月) 今日は雨戸作りと浜北へ苗木を持ちに行く班とに分かれた。役場がトラックと大石さん
を出してくれた。170本の苗木をいただいて、会長土場に仮植え。

出席者10名 *雨戸作りは2本の大戸の仮組みが出来上がる。

3月18日(木) 大工さんの最終指導ということで、山小屋作り作業を急遽組み込み、完成間近となる。

出席者 5名 山小屋から道路に降りる小道も出来上がる。小柳会員よりコナラ苗木役50本到着。

3月20日(土) 21日“大井川を育む森、山を守る活動事業”開催に向けて、天候も危ぶまれるので、な
るべく多くの植林を試みる。ユキヤナギ、ヒメシャラ、カエデ、コナラ、オウバイなどを

出席者11名 植えつける。*雨戸作りはほぼ完成し、小屋に運び込まれ取りつけられた。

3月21日(日) 大井川の清流を守る研究協議会主催、当会共催の、山を守る活動事業(山、川、海はパー
トナー)の育林体験会が、荒天後の荒れた天候の中、大勢の参加で行われた。

午前中、彩の森にて植林、次に大井川を育む森に移動して昨日植えたカエデに防護柵を打
ち込みネットで囲む作業(鹿など野生動物から幼木を守る事)、杉桧の60年生林の間伐
の状況の説明(林業への理解)、はばたきの森の成育状況と100年の森づくりへの取り
組み説明の後昼食となる。会員が作った豚汁サービスは好評にて80人分全て分配。

午後は、森や山や森林の話を緑の伝習館にて話し、上流部への理解と水を利用している関
係者の皆さんに、大井川を大切にしてほしいと訴えた。

終了後、参加者全員に苗木をおみやげとして渡した。

当会へ主催者側から お礼金50,000円が27日届きました。

以上 平成21年度 活動記録 を記載しました。

なお 山小屋第2期工事は次年度にて完成、計上に致します。